

## 2 現状と課題Q & A

### 【財政全般】

(問) 県財政は今どのような状況にあるのですか？熊本県は赤字なのですか？

(答) 県は、全国に先駆けて、平成13年2月に財政健全化計画を策定し、公共工事の削減や職員給与のカットなど、着実に財政健全化の取組みを進めてきました。しかしながら平成15年度からの国の三位一体の改革により地方交付税等が削減され歳入が大きく減少する一方で、歳出面においては扶助費や公債費等が増加する状況の中で、基金の活用をはじめ様々な財源対策等でどうにか赤字にならないようにしのいできました。

しかしながら、現在基金(貯金)の残高は約53億円と枯渇寸前であり、平成21年度以降の財源不足額も450億円前後が見込まれており、今後はこれまで以上の対策を講じなければ、平成21年度には赤字決算となり、さらに、平成22年度には財政再生団体に転落しかねないほどの危機的な状況にあります。

そのため、今年度中に財政再建に向けた抜本的な見直しを行い、対応していくこととしています。

#### これまでの県の決算は...

【熊本県普通会計における決算の状況】 (単位:億円)

	H15	H16	H17	H18
歳入	7966	7631	7359	7473
歳出	7710	7413	7192	7277
歳入歳出差引額( - )	256	218	167	196
翌年度への繰越額	218	163	136	102
実質収支( - )	+38	+55	+32	+94

#### 今後の見通しは...

【「中期的な財政収支の試算」から抜粋】 (単位:億円)

区分	H20	H21	H22	H23	H24
歳出	7,250	7,241	7,129	7,069	7,048
歳入	6,871	6,801	6,684	6,585	6,583
財源不足額( - )	379	441	445	485	466

財源不足を埋める対策

これまでの財源対策	行政改革等推進債	50	50	50	50	50
	繰越金等の活用(基金を含む)	329	243	190	190	190
	合計	379	293	240	240	240

財源対策後財源不足額( + )	0	148	205	245	226
-----------------	---	-----	-----	-----	-----

財政調整用基金残高	53	0	0	0	0
-----------	----	---	---	---	---

枯渇寸前

転落の危機

H21年度には赤字決算に  
H22年度には財政再生団体に

平成20年度の数値は、6月補正後の予算(案)の額。各項目の計数は、表示単位未満四捨五入したもので、その内訳は合計と一致しない場合がある。

